

# 米沢興譲館高校SSH通信

## 祝「科学の甲子園」県大会3連覇！ 3チームで上位独占！



Aチーム

「科学の甲子園に向けて」  
 (2年理数科男子チームAメンバー)  
 私たちAチームの八名は三月十七日〜二十日の四日間にかけて、茨城県つくば市で開催される科学の甲子園全国大会に出場することになりました。無事、山形県大会を勝ち抜き、興譲館高校の代表メンバーの一人として戦える事を誇りに思います。先生方をはじめ、ご声援を送って下さった全ての方々に感謝申し上げます。  
 十月に行われた山形県大会では、興譲館から三チームが出場しました。筆記競技、実技競技の物理、生物、総合の四部門があり、これらの合計得点で競い、最も得点の高い優勝チームだけが全国大会への出場権を獲得します。筆記、物理、生物部門では八人が得意分野でそれぞれ力を発揮する事が出来ました。総合競技では、厚紙、ストロー、CDなどの材料で、「正確な距離を走る車」を製作します。私達のチームは本番の二度の測定で誤差を5mm以内におさえ、最高得点をだし、優勝することができました。出場チームのなかで、興譲館で上位を独占し、さらに先輩方から続く三連覇を達成する事が出来ました。これは、先生方や先輩方の指導のもと、入念に準備をした結果だと思えます。



Bチーム

科学の甲子園を通じて学んだこと」  
 (2年普通科理科系チームBキャプテン)  
 自分は科学の甲子園で実技競技の物理と総合に出場しました。物理では、指定された道具をセットして、それを使って統計を取り、物理の計算を使って解いていくものでした。最初は簡単かと思いましたが、上手く話し合いが進まず、結果はあまりよくありませんでした。このことから、勉強して知識、思考力等を身につけるだけでなく、仲間とのコミュニケーション能力も理系の仕事に必要なと分かりました。  
 総合では、事前課題である「決まった距離を走る車」を作り、その正確さを競うものでした。本番一週間前からチーム全員で考えて車を作りました。いろいろなアイデアを試してみましたが、うまくいかないことが何度もありました。ある日、チームメイトが常識破りのアイデアを出しました。それは、ボディを持たない車を作るというものでした。タイヤとなるCD三枚の真ん中にストローを通して軸とした形です。最初は上手くいかないように思いましたが、CDに輪ゴムを取り付けるだけで走る距離を調節できるという長所がありました。さらに、直進するために精度が高い車を作る必要がありました。そのため、CDにコルクを貼り、コンパスで正確に中心をとって軸を作りました。学校の体育館でも走らせる練習をたくさん行いました。本番では満点は取れませんが高得点を取る事が出来ました。



Cチーム

「興譲館Cチームの活動」  
 (2年理数系普通科チームCキャプテン)  
 私達興譲館Cチームは、今回の科学の甲子園山形県大会において、Aチーム、Bチームに続いて第三位でした。全員が知恵を振り絞って、自分達のできる最大級の力を発揮出来たと思います。  
 大会の準備段階で、私を含めた三人で実技競技総合の事前課題である「正確な距離を走る車」を作成しました。とても考えがいのある課題であったので、いろいろ試行錯誤しながらより精度を上げていく過程がとても楽しかったです。与えられた材料を見た時、とてもユニークなものばかりだったので、それらをどう活用していくか考えていくだけでも面白かったです。  
 大会本番では、筆記競技、実技競技物理、生物、総合とわかれていました。筆記競技では、普通の試験とは違ってチームで相談しながら解いていくもので、様々な分野から問題が出題されるので、メンバーが得意な教科の問題を優先して解き、そのあと、みんなで教え合うという戦略で挑みました。自分の得意でない分野でも協力して考えて答えを出すという事ができてよかったです。  
 実技競技では、一位には及びませんでしたが最後の調整まで気を抜かずに取り組み、最善を尽くすことができました。  
 科学の甲子園を通して私達は大きく成長することが出来たと思います。自分の考えをしっかりと述べる事がとても大切だとわかりました。また、それと同時に理数科目に対する関心もより深まりました。今回の体験を糧にして、次の新たな目標に向かっていきたいと思えます。

### 大会結果

- Aチーム 優勝(全国大会出場)
- Bチーム 2位
- Cチーム 3位

